

会議名 第42回ニセコ町観光戦略会議

開催日 平成26年7月2日	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 8:00
会議場所 ニセコ町役場 第二会議室	記録者	商工観光課観光戦略推進係 係長 齊藤 徹
出席者 委員：渡辺委員、松岡委員、片岡委員、壁谷委員、吉村委員、服部委員、チャールズ委員、木下委員、櫻井委員、今野委員 事務局：前原商工観光課長、齊藤観光戦略推進係長、淵野観光圏推進係長、ポール主査		
欠席者 委員：大久保委員、宮崎委員		

～会議日程～

- ・委員自己紹介、座長互選
- ・情報提供（観光振興計画の説明、ニセコエリアを取り巻く状況）

【主な内容】

◇町長から挨拶

- ・景観・環境はとても大切。景観条例や都市計画など規制がニセコの価値を生む。
- ・ニセコ高校では環境リゾートコースがあり優秀な人材が育っている。
- ・サッカー場が必要。ニセコでの合宿需要が高い。
- ・w i f i 環境の拡大。総務省の事業を活用していく。

◇委員からの意見

- ・アスリートを活用して夏のスポーツ振興。スケートボードパークの活用も可能性を秘めている。倉庫邑の活用など。
- ・アーティストもたくさん居るので活用しては。
- ・各施設の共通の課題として、スタッフが不足している。インターンシップなどを活用してニセコよさを広げると一石二鳥。
→観光のインターンシップで単位をあげてもいいという教授も居る。ニセコは国内で海外のことも学べる。札幌国際大学はわざわざハワイにインターンしている。
- ・広域の中でのニセコのかかわり。ニセコの意見が埋もれてしまわないように。
→観光圏はNPBをプラットフォームにして推進していくが、それだけでは難しいので役場職員の派遣の予定。
- ・日本創生会議というWEBサイトで消滅自治体リストがあり、周辺町村も多い。アクションプランなども出ているので参考になる。
- ・特に夜にニセコの飲食店で行くところが少なすぎる。消費するところが無い。
- ・ホテルからの足が無い。店の送迎をその店だけで完結させないような取り組み。
- ・湯めぐりバスやユナイテッドシャトルにより横の連携はあったが、山と町の連携は無かった。
- ・町民一体となったおもてなしの雰囲気づくり。